

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 11843	科 名 服飾専攻科 オートクチュール専攻	単 位	18
科目コード 02501	科目名 オートクチュールA／B	授業期間	前期・後期

担当教員(代表)：辛島 敦子	共同担当者：馬島 泰彦
----------------	-------------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

各細目制作を通して個々の体型の把握とその補正法、デザインと素材と関連性、表地、裏地、芯地の扱い、及び多くの縫製仕様を学び、パターン制作技術、縫製テクニックの更なる向上を目指す。薄物素材、皮革、天然芯のスーツ、高級素材のコート、特殊素材の毛皮までを作製する。また、立体裁断による型出しの演習も学ぶ。

・オートクチュール 論A/B	前期 2単位 / 後期 1単位 (02501.02502)
・オートクチュール デザインA/B	前期 1単位 / 後期 1単位 (02601.02602)
・オートクチュール ソーイングA/B	前期 3単位 / 後期 3単位 (02741.02742)
・オートクチュール パターン メイキングA/B	前期 1単位 / 後期 2単位 (02771.02772)
・オートクチュール ドレーピングA/B	前期 2単位 / 後期 2単位 (02781.02782)
◎実物制作	
1 天然芯のスーツ (42コマ)	デザイン・パターン・実物制作・レポート
2 ウェイオネ演習 (26コマ)	デザイン・パターン・基本演習(3体)・実物制作・レポート
2 皮革作品 (35コマ)	デザイン・パターン・実物制作・レポート
3 バザー作品 (15コマ)	デザイン・パターン・実物制作
4 コート作品(毛皮、リバーシブル) (59コマ)	デザイン・パターン・実物制作・レポート
◎立体裁断	
1 三面構成ジャケット (8コマ)(前期) トワル制作・パターン	工業用ボディー
2 ラグランスリーブ (8コマ)(後期) トワル制作・パターン	工業用ボディー
3 ドレープ各種 (7コマ)(後期) トワル制作・パターン	文化ヌードボディー
4 トワリスト賞作品制作、又は立体モードコピー (10コマ)(後期) トワル制作・パターン	文化ヌードボディー
5 立体モードコピー (33コマ) *トワリストと立体モードコピー選択	文化ヌードボディー

評価方法・対象・比重

服装造形論期末試験、レポート、作品

ドレーピング期末試験、立体裁断アイテム

主要教材図書：文化ファッション大系服飾造形講座 ⑥高級素材 ⑦特殊素材 立体裁断応用編 工業パターンメイキング
参考図書：トレンド各雑誌
その他資料

記載者氏名 馬島 泰彦

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 11843	科 名 服飾専攻科 オートケール専攻	単 位	1
科目コード 00920	科目名 服装造形工業パターンメイキング II	授業期間	通年

担当教員(代表) : 辛島 敦子	共同担当者 : 馬島 泰彦
------------------	---------------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

各課題、作品を通して基本的工業パターンメイキングを学習、習得することを目標にする。カリキュラム作品のスーツ、ヴィオネ、皮革、コート、特殊素材、フォーマル素材に適したパターンメイキング理論を作品制作することで習得、応用まで発展させる。

・各課題の、作品制作を通して基本的工業パターンメイキングの理論、技術、知識を学習、習得する。

評価方法・対象・比重

・期末試験、各作品制作時のパターン制作評価

主要教材図書 : 文化ファッション大系アパレル生産講座 工業パターンメイキング

参考図書

その他資料

記載者氏名 馬島 泰彦

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 11843	科 名 服飾専攻科 オートクチュール専攻	単 位	1
科目コード 02900	科目名 オートクチュール特論	授業期間	通年

担当教員(代表)：辛島 敦子	共同担当者：馬島 泰彦
----------------	-------------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

オートクチュールについて専門知識を学び技術を習得、同時に昨今のオートクチュールの現状を理解し業界システムの知識を深める。

・鈴木 紀男先生による講義及び指導、点検（8回×2コマ、全16コマ）

カリキュラムに合わせて、作品作りのポイント解説及び作品へのアドバイス、評価を受ける

- ・ オートクチュール総論 オートクチュール作品の解説
- ・ 夏物について
- ・ 高級素材のセーリングサンプルの解説
- ・ ウェディングドレスについて
- ・ 創作演習 素材からデザイン発想への解説
- ・ グループ制作作品のトータル点検から完成までの指導

評価方法・対象・比重

授業ノートと出欠席状況

主要教材図書：文化ファッション大系服飾造形講座 ⑥高級素材 ⑦特殊素材

参考図書：ファッションブック（コレクション号等）

その他資料

記載者氏名 馬島 泰彦

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 11843	科 名 服飾専攻科オートクチュール専攻	単 位	2
科目コード 37000	科目名 クチュール手芸演習	授業期間	通年

担当教員(代表)：三見 麻里子	共同担当者：
-----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）
クチュール手芸の基本テクニックから応用作品（フォーマル）の制作を通して実技を指導する。

授業概要＝テーマ（大・中・小項目）、方法（講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など）
制作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

基礎刺繍

- ・ ビーズ、スパングル刺繍基本刺し
- ・ 様々な材料を使用するモチーフ制作
- ・ ブレード加工基本刺し
- ・ コード刺繍基本刺し
- ・ 飾りボタン制作

応用作品

- ・ フォーマルウェアに装飾 （創作演習）

評価方法・対象・比重

部分刺し課題 作品評価

主要教材図書 栗山武子 （ビーズ刺繍でドレスアップ）、（栗山武子のエレガンス刺繍） とともに文化出版局

参考図書 なし

その他資料 なし

記載者氏名 三見麻里子

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	11843	科 名	服飾専攻 オートクチュール専攻	単 位	2 単位
科目コード	37000	科目名	クチュール手芸演習	授業期間	通年 ()

担当教員(代表) 三見 麻里子	共同担当者 :
-----------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など 200 字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
・クチュール手芸の基本テクニックから応用作品(フォーマル)の制作を通して実技を指導する。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	ビーズ基本刺し	16	グループ制作作品(創作演習)
2	〃	17	〃
3	スパングル基本刺し	18	〃
4	〃	19	〃
5	モチーフ制作	20	〃
6	〃	21	〃
7	ビーズボタン	22	〃
8	〃	23	〃
9	ビーズ縁取り	24	〃
10	〃	25	〃
11	ブレード加工	26	〃
12	〃	27	〃
13	コード刺繍基本刺し	28	〃
14	〃	29	卒業制作作品
15	グループ制作作品	30	〃

評価方法・対象・比重
・部分刺し課題 作品評価

主要教材図書 栗山武子(ビーズ刺繍でドレスアップ)(栗山武子のエレガンス刺繍) 共に文化出版局

参考図書 なし

その他資料 なし

記載者氏名 三見 麻里子

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 11843	科 名 服飾専攻科 オートクチュール専攻	単 位	2
科目コード 02800	科目名 創作演習	授業期間	後期

担当教員(代表)：辛島 敦子	共同担当者：馬島 泰彦
----------------	-------------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

オートクチュールのテクニックによるフォーマルウェア制作をさせる。オートクチュール特論の鈴木紀男氏の授業と平行して高級素材、特殊素材を扱う本格的フォーマルウェアを制作する事を目標とする。また、これをおし、グループでの協調性を養うための実物仮縫い、オートクチュール手芸とも連携し、手芸的テクニックも加え作品制作、コーディネート発表会までさせる。

・フォーマルウェア

オートクチュール特論(鈴木 紀男氏)の授業と平行、連携し、実践的にクチュールのなフォーマルウェアをグループ単位で製作する。

外部講師からデザイン、素材との適性、トワル仮縫い、実物仮縫い、中仮縫い、アクセサリ合わせ、実物完成までの指導を受ける。また、同時にオートクチュール手芸とも連携し、フォーマルウェアに相応しい手芸的テクニックを取り入れる。

評価方法・対象・比重

・作品評価、出席状況、グループ内貢献度

主要教材図書 ； 文化ファッション大系服飾造形講座 ⑥高級素材 ⑦特殊素材

参考図書

その他資料

記載者氏名 馬島 泰彦

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 11843	科 名 服飾専攻科 オートクチュール専攻	単 位	1
科目コード 49000	科目名 ファッション特論	授業期間	通年

担当教員(代表) : 辛島 敦子	共同担当者 : 馬島 泰彦
------------------	---------------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
 服飾造形に関する専門的な分野の技術、知識を深める。そのために、専門性の高いベテラン講師を招き技術示範を講義してもらう。

- 1 アパレルに於けるパターンメーカーの役割/立体実技・製図・アイロン処理 (伊藤 智之氏) 4コマ×1回
- 2 体型の形態及びパンツの解説/紙はり実習による下肢の観察、解説 (的場 しのぶ氏) 2コマ×1回
- 3 花飾り、造花/花飾り、コサージュ制作 (川村 智子氏) 2コマ×2回
- 4 ニットの知識/カット・ソー(Tシャツ製作) (升崎 登美子、田才由美子氏) 2コマ×2回

評価方法・対象・比重
 レポート/出席状況

主要教材図書

参考図書

その他資料 : 関係プリント

記載者氏名 馬島 泰彦

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 11843	科 名 服飾専攻科オートクチュール専攻	単 位	1 単位
科目コード 41900	科目名 西洋服装史特論	授業期間	半期（後期）

担当教員（代表）：菊田 琢也	共同担当者：
----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

20 世紀以降のファッションがどのような思想、社会状況、隣接する文化領域との関連のなかで発展し、歴史を紡いでいったのかについて考察する。その際に、衣服制作を支える裁断・縫製・素材といった技術の発達史および産業史にも留意する。また、各回ごとに現在のファッション現象と照合して見ていくことを通じて、歴史が現在と地続きであることへの気づきを促し、現状と今後について考える手段と姿勢を養う。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	イントロダクション：歴史を学ぶとは	16	
2	オートクチュールの誕生とデザイナーの自立	17	
3	身体の再発見：ポール・ポワレとマドレーヌ・ヴィオネ	18	
4	ファッション・デザインとモダニズム：ガブリエル・シャネル	19	
5	アートとファッションの交流：エルザ・スキャパレリからマーク・ジェイコブスまで	20	
6	ファッションと流行：クリスチャン・ディオール	21	
7	若者の時代：スペース・エイジとスウィング・ロンドン	22	
8	ファッションと既製服：ブレタボルテと日本人デザイナー	23	
9	路上からランウェイへ：ヴィヴィアン・ウエストウッドの仕事	24	
10	ジャパニーズ・アヴァンギャルド・ファッション：三宅一生、山本耀司、川久保玲	25	
11	アンドロジナスな身体：クラブカルチャーとその周辺	26	
12	アントワープ・ファッション：ファッションにおける歴史性と革新性	27	
13	ミニマリズムとは何か：ジル・サンダー、ミウッチャ・プラダ、ヘルムート・ラング	28	
14	身体的美醜：アレキサンダー・マックイーン、ジョン・ガリアーノ	29	
15	「マイクロ・ポップ」な創造者たち：周縁化する現在のファッション・シーンについて	30	

評価方法・対象・比重
出席、授業態度を重視する。学期末にレポートを提出してもらい、最終的な評価を判断する。

主要教材図書
毎回、プリントを配布する。

参考図書 文化服装学院編『服飾関連専門講座⑪ 改訂版・西洋服装史（文化ファッション体系）』文化出版局 2012、成実弘至『20 世紀ファッションの文化史』河出書房新社 2007、ブリュノ・デュ・ロゼル（西村愛子訳）『20 世紀モード史』平凡社 1995 他

その他資料

記載者氏名

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 11843	科 名 服飾専攻科 オートクチュール専攻	単 位	2
科目コード 51200	科目名 クチュールデザイン画	授業期間	通年

担当教員(代表)：岡本あづさ	共同担当者：
----------------	--------

<p>教育目標・レベル設定など</p> <p>各自のデザインテーマに向けて、独自の発想（イメージ）をより具体的に表現出来る実力を身につける</p> <p>改めて画材の特徴、可能性を知ることによってクチュールデザインの表現テクニックを強化する。</p> <p>相手に対する伝えるためのプレゼンテーションの方法、自分をアプローチする方法を常に考えながら表現する</p> <p>作品製作を目指し、目標とする</p>
--

<p>授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、 テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先</p>	
I. オリエンテーション	
II. 画材研究	・各種画材の（パステル、マーカー等）表現の特徴、可能性、違いを知る事で幅広い表現のバリエーション、技術を習得する
III. テーマからのデザイン発想（A）	・各自年間を通してデザインテーマ、コンセプトを設定し、それをデザイン軸として表現展開していく
IV. テーマからのデザイン発想（a）	・（A）で設定したテーマコンセプトを軸にサブテーマとしてカラー（色）に注目しデザイン展開を考える (夏期課題＜マイコレクション＞)
V. テーマからのデザイン発想（b）	・（A）のテーマを軸に各自素材を使いB5サイズ程度のオリジナルテキストイルを制作 そのテキストイルを生かしてデザイン発想し、バリエーションの幅を広げる
VII. テーマからのデザイン発想（c）	・（A）のテーマを軸にサブテーマを選びデザインバリエーションの幅を広げる
VIII. 校内ファッション画展	・B3パネル制作
IX. まとめ	(課題の間にコンテスト画制作の時間を入れる)

<p>評価方法・対象・比重</p> <p>課題を中心とし、その作品、出席状況、及び授業態度による総合評価</p>
--

<p>主要教材図書</p> <p>ファッションデザイン画</p>
<p>参考図書 各分野での、展示会カタログやアーティストの本、ファッション誌、雑誌等、卒業生の参考作品など</p>
<p>その他資料</p>

<p>記載者書名欄</p>

科コード	11843	科 名	服飾専攻科 オートクチュール専攻	単 位	1
科目コード	43110	科目名	CADパターンメイキングⅠ	授業期間	前期

担当教員(代表)：上野 和博	共同担当者：
----------------	--------

教育目標・レベル設定など

アパレル産業における設計プロセスを認識し、アパレルCADを利用した実務の考え方・方法を深めることを目標とする。入力作業に始まり、パターン展開、プランニング、マーキングと流れ、作成したデータを活用した資料（帳票類）をおこなう。基礎的部分の履修ではあるが、最小限の機能を活用し、最大の効果が得られるレベル設定とする。

- I. ガイダンス（1コマ）
- II. CAD基本操作（4コマ）
 - ①. スカート（トレース、トレース後の修正、図形カット、合わせ、直線作成）
 - ②. ブラウス（部分展開、部品作成、直線作成、曲線作成）
- III. CAD応用操作（1コマ）
 - ①. スカート（単機能、複合機能、情報の追加）
- IV. 縫い代つけ（基礎）（0.5コマ）
 - ①. スカート（縫い代つけ、角処理）
- V. マーキング（0.5コマ）
 - ①. マーキング準備（簡易収集：諸条件設定）
 - ②. マーキング実行（型入れ⇒用尺、歩留算出⇒印刷）
- VI. パターン入力（2コマ）
 - ①. スキャナ使用方法
 - ②. パターントレース、パターン修正
- VII. 工業用パターン作成（2コマ）
 - ① 前身頃⇒前見返し、裏衿⇒表衿
 - ② 縫い代つけ（応用）
- VIII. 試験対策（1コマ）
- IX. 資料作成（2コマ）
 - ① レポート対策
 - ② 帳票類作成

評価方法・対象・比重

出欠席（2割）＋ ファイル（2割）＋ 試験（実技・筆記）（6割）

主要教材図書

参考図書

その他資料：配布プリント（私製）

記載者書名欄 上野 和博

科コード 11843	科 名 服飾専攻科オートクチュール専攻	単 位	2
科目コード 34000	科目名 帽子	授業期間	通年

担当教員(代表)： 太田 泉	共同担当者：
----------------	--------

教育目標・レベル設定など

1. 帽子の一般常識と帽子に対する知識を深める。服飾に於ける帽子の位置づけを理解させる。
2. トータルイメージを表現する力を養う。作品製作を通して帽子のイメージ、服とのバランス感覚などを把握

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

I・オリエンテーション 講義・演習 [2コマ]

- ① 帽子の形の種類・素材・木型・用具など専門性の説明
- ② 夏物帽子(夏物帽体)のデザイン相談・導入・製作開始

II・実物製作 4点 +基礎演習(ブレード) 1点

(1) 夏物帽子(夏物帽体) 講義・演習 [6コマ]

- ① 麻・水草繊維等天然繊維の専門素材による実物製作
- ② 木型など専門用具の使用法、型入れによる形づくり

(2) 布帛の帽子(皮革も含む) 講義・演習 [6コマ]

- ① 基礎作図からパターンの応用、製作方法
- ② 仮縫い方法、芯地の選び方、縫製技術についてデザイン別、素材別の製作方法

(3) 冬物帽子(フェルト帽体) 講義・演習 [6コマ]

- ① ファーフェルトなどの帽子用フェルト帽体による実物製作
- ② 木型・スチームボイラーを用いての蒸気によるデザイン別成型法

(4) ブレードの扱い方・基本技法の習得演習 講義・演習 [2コマ]

- ① 麻・ビスカブレードの2点で基礎巻きをする。修了作品に用いる場合の基礎とする

(5) 修了作品・フォーマルハット 講義・演習 [8コマ]

これまで学んだ事を総合した応用作品とする

- ① フォーマル、ウェディング、カクテル、ステージなど目的は広範囲である、修了作品ドレスとのコーディネート
を考慮したデザインで製作。資料の収集をして時代復元作品にしても良い。卒業作品展示にする
- ② 帽子専門芯地での土台芯の製作による土台芯の扱い方
- ③ 土台芯への布の扱い方。薄物生地、
ベルベット、ドレス共布等布別、形別の方法
- ④ トリミング製作、仕上げ方…花、パール、羽根等材料別扱い方、まとめ方

評価方法・対象・比重

作品・授業姿勢 8 : 2

主要教材図書 文化ファッション大系 ファッション工芸講座① 帽子基礎編

参考図書 欧米理容美容の歴史

その他資料 コスチューム資料質標本

記載者書名欄 太田 泉

2015年度 カリキュラム科目概要

科コード 11843	科名 服飾専攻科 オートクチュール専攻	単 位	1
科目コード 71500	科目名 ピンワーク	授業期間	前 期

担当教員(代表): 多田 園江

共同担当者:

教育目標・レベル設定など

布地を中心としたピンワークの基礎技術の習得。一枚の布から立体を製作し布の動き、流れを理解して造型感覚を高める。さらに繰り返し練習する事で色彩、形、素材への拘りや美に対する意識や感受性を養い新たな服造への発想へとつなげる

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

I. ピンワークについての概要－①テキスト、資料等でピンワーク概要を説明(講義)

②ビデオでディスプレイの現場紹介(レース展示会、クリスマス実施作業現場ほか)

③ピンワーク基本技術(示範と実習)

ボディを使用して 布の扱い方、ピンの扱い方の実習 (2)

II. ピンワークの基礎技術－①アンビエ、ドゥブルビエ

ボディを使用して ひだのとり方、ピンの打ち方の師範と実習(4)

②ドレープ

マネキンの扱い方

マネキンを使用してバイアスドレープの師範と実習 (1)

③ギャザリング

マネキンを使用してギャザーの寄せ方とリズム感、ボリューム感表現の師範と実習(1)

④タッキング

美しいしわづけの方法とより立体的な布の造形を製作 示範と実習 (2)

⑤ウール、チュールなどいろいろな素材の扱いと空間構成の基本実習 (2)

III 異素材による自由創作－①布以外の素材を使用して「ブライダル」をテーマに応用創作

発想から、デザイン、準備、製作と組み立てる事もポイント(2)

(紙、ビニール、網…etc)

評価方法・対象・比重

実習、を通しての作品評価(個人又はグループ)

授業態度、出欠状況も含める

主要教材図書 文化ファッション大系ファッション流通講座⑧ディスプレイ・VP・VMD
文化服装学院編

参考図書 テーマによって関連資料を紹介

その他資料 テーマによって関連資料を紹介

記載者書名欄

多田 園江

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	11843	科 名	服飾専攻科 オートクチュール専攻	単 位	1
科目コード	31000	科目名	アクセサリー	授業期間	後期

担当教員(代表)：中川 清美	共同担当者：
----------------	--------

教育目標・レベル設定など

アクセサリーは服を引き立たせるための小道具である。アンティークや新しい素材を幅広く取りこみ、オリジナリティの高い作品、オートクチュール感覚のアートアクセサリー、アートフラワーの制作、そして服作りのヒントにと意識している。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1. アートアクセサリー鑑賞
参考作品の素材説明とアイディア提案
2. アートアクセサリー制作実習
樹脂の扱い方・中川作品鑑賞
3. アートアクセサリー制作実習仕上げ
4. アンティークジュエリー鑑賞
ヨーロッパを中心に19世紀中頃から50年代のジュエリーの細工・特徴について・ジュエリーの諸知識について
5. シルバー粘土の特性と扱い方について
制作実習
6. アートアクセサリー応用制作実習
7. アートアクセサリー応用制作実習

評価方法・対象・比重
作品提出・英字評価

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者書名欄

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 11843	科 名 服飾専攻科 オートクチュール専攻	単 位	1
科目コード 98130	科目名 特別講義 III	授業期間	通年

担当教員(代表)：辛島 敦子	共同担当者：馬島 泰彦
----------------	-------------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

ファッション情報をコレクションの取材を通し分析した内容や、業界のトレンド分析も含めて講義を受けることにより細目への参考にさせる。また、企業の一線で活躍されている現場情報を知識として発展、応用させる為に本物の高級素材、作品制作を見ることが不可欠である。その事が美的感性、創造性を高めるなど就職面、ビジネス面への展開を含め、専門的分野の知識を深める事に重要となる。

1	ファッション情報	トレンド解説	パリ、ミラノ、東京	（講師検討中）	2コマ×1回
2	皮革／衣料用皮革とレザーアパレルの現状			（長谷川 脩氏）	2コマ×1回
3	リュネビル刺繍の実演、解説／起業に対する心構え			（柴田 士郎氏 小川 明子氏）	2コマ×1回
4	体型の形態、及びパンツの解説／体型の観察、紙はりのパターン解説			（的場 しのぶ氏）	2コマ×2回
5	オートクチュールの仕事／オートクチュールの裏側、日常			（滝澤 愛氏）	1コマ×1回
6	毛皮のテクニック／毛皮の知識及び技術解説			（梨本 チエ子氏）	2コマ×1回
7	西洋の布、東洋の布／世界の布とアンティーク作品の鑑賞			（中川 清美氏）	2コマ×1回
* レギュラー内特別講義					
1	キャリア開発／就職対策講座			（佐々木 徹氏）	4コマ×1回

評価方法・対象・比重
授業ノートと出席状況

主要教材図書

参考図書

その他資料：関係プリント

記載者氏名 馬島 泰彦

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 11843	科 名 服飾専攻科 オートケール専攻	単 位	4
科目コード 97910	科目名 専攻科卒業研究・創作	授業期間	後期

担当教員(代表)：辛島 敦子	共同担当者：馬島 泰彦
----------------	-------------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

服飾課程で学んだ服作りの理論、知識、技術の集大成として、創造性、美的に富んだ作品を制作する事を目的にする。また、トータルコーディネートし、企画、演出を学生の担当でまとめていく。

1 卒業制作（69コマ）

- ・各自自由な発想のデザインを基に、平面作図又はドレーピングにより型出しをし、実物制作する。
- ・各デザイン、各素材による縫製法、縫製技術、素材の扱い方を学習、習得する。
- ・トータルコーディネートし、卒業制作ショーで発表する。

評価方法・対象・比重

個人制作作品（デザイン、縫製、コーディネート）で評価

主要教材図書：文化ファッション大系全般

参考図書

その他資料

記載者氏名 馬島 泰彦